

子どもの水難事故 警戒 県警

①兵庫県警があぶない場所としている池や河川は何力所ですか。それがどのような場所か、くわしく書いていくところに線を引きましょう。

力所

池・川・海 1500力所要注意

管理者に防止策要請

子どもの水難事故が懸念されるとして、兵庫県警が危険・警戒場所として把握している池や河川などが県内で約1500力所に上ることが、

県警への取材で分かった。増水で小学生の児童ら5人が死亡した神戸市灘区のと賀川事故から間もなく5年。水遊びの機会が増え、局地的豪雨が発生しやすい7～8月に子どもの水難事故が目立っており、県警は危険・警戒場所を見回るほか、河川などの管理者にも事故防止策を要請している。
(井関 徹)



水難事故防止に向けて、ため池や注意喚起の看板を点検する明石署員ら＝12日午前、明石市大久保町江井島（県警提供）

県警は1974年から 治体職員らと共に池や毎年、交番勤務員らが自川、海などの水辺を調査。

③あなたがあそぶ場所に、あぶないところがないか、おうちの人はなしあいましょう。そして、水の事故にあわないために気を付けることを書きましょう。

昨年の調査では全警察署（所）と続く。警察署別管内で危険・警戒場所が 明石署（117カ所）▽姫路署（104カ所）▽丹波署（97カ所）に上った。

危険場所は、流れが速く転落すれば押し流され、古川署（81カ所）▽加

に深くはなっている。▽急勾配 だった。昨年7～8月に起きたで596カ所。警戒場 中学生以下の事故は8所は、具体的な防止措置 件で、1人が死亡した。がとれない▽改善措置 県警は確認した場所をを講しても危険性が残 管理者や周辺住民に知る。など72カ所だ させ、注意喚起を図った。

内訳は、「湖沼池」が 最も危険な場所には子 最多の867カ所で全体 どもだけで近づけないよ の約6割を占めた。次 いうにしてほしい」として いて「河川」（385カ 所）、「海」（105カ